

令和2年度東京都保険者協議会データ分析部会の取組について

令和元年度第3回保険者協議会データ分析部会において、令和2年度以降の保険者間の分析結果の共有について意見交換を行い(参考1)、委員からは、以下のような意見があった。(参考2)

- ・個人情報の取扱いに課題がある。
- ・個人情報の取扱いに制約はあるが、現在できることを検討するというのも手である。
- ・過去には、データの分析結果を持ち寄ったことがあった。
- ・住所地ごとに分析できると良い。
- ・被用者保険では被保険者の正確な住所地を把握していないことがある。

【事務局からの提案】

これらのことから、事務局として以下のように整理したが、以下の3点についてご意見をいただきたい。

①保険者間の分析結果の共有を行う場合には、個人情報や住所を扱わないものとする方向で検討することとする。

例:データ分析部会で条件を設定し、その条件により分析した結果を持ち寄り、集計結果を共有

今年度は、第2回データ分析部会において、健康スコアリングレポートを各委員が持ち寄り、分析結果を部会で共有し、結果や活用方法など、共通して読み取れることがないか検討してはどうか。

②令和3年度は、テーマを絞り、分析結果を持ち寄ってはどうか。テーマについてもご意見をいただきたい。
(テーマ例:糖尿病性腎症重症化予防、重複頻回)

③その他に令和2年度及び令和3年度に取り組んだ方が良い内容はあるか。
(例:データヘルス計画中間評価の実施状況の共有、分析)

【参考】データ分析部会における過去の取組内容

時期	テーマ	概要
令和元年度	データ分析に関する研修会を定期化	糖尿病重症化予防や特定健診・特定保健指導、後発医薬品の使用促進等の医療保険者が取り組む課題について、データ分析及びデータに基づいた効果的な保健事業を行う必要があることから、データ分析に係る人材育成のための研修会を定期化した。
平成30年度	データを活用した保健事業の取組事例集作成、発表会	「データ分析に関する調査報告書」をもとに、糖尿病重症化予防や特定健診・特定保健指導、後発医薬品の使用促進等の医療保険者が取り組む課題について、データ分析結果をもとに健康課題等を把握し、被保険者の健康づくりや疾病予防等の事業を展開している医療保険者に調査を行い、事例集として取り纏めた。また、発表会を開催し、事例集掲載の保険者の中から4保険者に取組事例を発表してもらった。
平成28～平成29年度	データ分析に関する調査報告書 作成	各医療保険者が保有するデータの分析及び活用方法について把握し、今後の保健事業の推進に生かすことを目的に調査を行い、報告書を作成した。
平成26～平成27年度	「データヘルス計画について」アンケート調査結果集計	各医療保険者が取り組んでいるデータヘルス計画について、どのように策定・実施・評価等を行うのかについて調査を行い、集計結果を公表した。

※なお、過去の取組は保険者協議会HPに掲載しております。ご一読くださいますと幸いです。

<https://www.tokyo-hokensyakyougikai.jp/contents/report/past.html>